

北海道高校生環境サミット開く 高校生の立場で環境問題を論議

10月27日、28日の2日間、たつて、洞爺湖町内を会場にして北海道高校生環境サミットが開かれました。

環境がメインテーマになる、来年の北海道洞爺湖サミット開催にさきがけて、北海道などが主催したもので、地元洞爺高校など全道から8校21人が参加して、活発な論議を交しました。

27日は、ネイバル洞爺を会場に、オリエンテーリングや各校の実践的環境活動への取り組みを発表。地元洞爺高校から参加した後藤有羽香さんと佐藤正一君は、洞爺湖の水質測定や環境美化活動について説明しました。2日目の28日には、会場を洞爺湖ビジターセンターに移し、地球温暖化、自然環境保全の2

分科会に分かれて論議を行い、それを全体会議で集約して、全文と6項目の行動指針を含む「高校生サミット宣言」にまとめ上げました。

この後、参加した高校生を代表して梅基稜君（岩見沢農業高校2年）が、地球や豊かな自然が多く残る北海道を守ることに最善をつくすことを誓います」と書かれた宣言書を高橋知事に手渡し、同センターの敷地内でキタコブシの植樹と記念撮影を行って、サミットは閉幕しました。



記念植樹を行う高校生

TユニティFC 虹田中学校サッカー部

全道優勝果たす

TユニティFC
嬉しい全道制覇

10月6日から8日まで中標津町で、全道から16チームが参加して「トラック協会杯第19回全道サッカー少年団(U-11)サッカー大会」が開かれ、TユニティFC（平塚修司監督）が全道優勝を果たしました。全道大会ということで、各チームもレベルも高く厳しい試合が続く中、予選リーグを2位で決勝トーナメントに進出。同トーナメントでは、準決勝を1対0で勝ちあがり、決勝は、予選で敗れた旭川の「in Bear」

を破って進出したTFCジュニアユース。お互い譲らず0対0の試合がくり広げられ、終了間際にTユニティFCがゴールを決め有終の美を飾りました。

10月12日には役場を訪れ、チーム全員が破顔一笑で吉報を長崎町長に伝えました。



全道優勝を報告するTユニティFCのメンバー

8人制サッカー大会で
虹中サッカー部全道の
頂点に立つ

第5回全道(U-14)8人制サッカー大会が、10月7日、8日の両日網走市で開催。32チームがA、Bブロックに分かれ、各ブロックで予選リーグとグル

ープ1位リーグ戦を行い、虹中サッカー部はBブロックを制覇し、全道の頂点に立ちました。同サッカー部は、予選リーグを3戦全勝で突破。4校が優勝めざしてリーグ戦を闘う、各組1位リーグに進出しました。同リーグでは、初戦ヴァンクルに敗退しましたが、札幌、池田中との残り2試合をチーム一丸となつて勝利し、結果得失点差で1位の栄冠を勝ち取りました。

10月11日には役場を訪れ、部存続の危機を乗り越えて手にした優勝の喜びを、長崎町長に報告しました。



全道制覇を報告する虹中サッカー部のメンバー